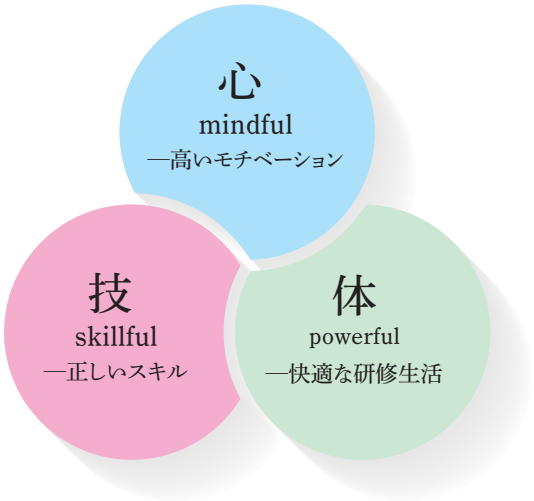
Jichi Medical University Hospital

自治医科大学附属病院

卒後臨床研修プログラム

URL:https://www.jichi.ac.jp/hospital/top/resident/

自治医大附属病院は、
医師国家試験～初期後期研修～専門医試験まで、
飽くなき努力を全力でサポートし、
あなたの希望を実現することを約束します。



■ 医師数　764名（2023年4月1日現在）
■ 指導医数　337名（2023年4月1日現在）
■ 1日平均入院患者数　800名（2022年度）
■ 1日平均外来患者数　2,505名（2022年度）
■ 救急患者数　9,295名（2022年度）

病院概要

■ 病床数　1,132床

■ 診療科目

循環器センター（内科・外科）、消化器センター（内科・外科）、
呼吸器センター（内科・外科）、脳神経センター（内科・外科）、
腎臓センター（内科・外科）、血液科、総合診療内科、内分泌代謝科、
アレルギー・リウマチ科、臨床腫瘍科、感染症科、緩和ケア科、
放射線診断科、放射線治療科、精神科、皮膚科、乳腺科、移植外科、
形成外科、美容外科、整形外科、産科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、
眼科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、
歯科口腔外科・矯正歯科

●子ども医療センター

小児科、小児外科、小児・先天性心臓血管外科、小児泌尿器科、
小児整形外科、小児脳神経外科、小児移植外科、小児形成外科、
子どもの心の診療科、小児耳鼻咽喉科、小児歯科口腔外科

■ 主な施設部門

・救命救急センター（三次救急指定）
・集中治療部（ICU）
・冠動脈疾患集中治療部（CCU）
・高度治療部（HCU）
・総合周産期母子医療センター（MFICU、NICU、GCU）
・院内助産所
・とちぎ子ども医療センター（大学併設型 137床）
・小児集中治療部（PICU）

総合力のある
専門医育成を目標に、
恵まれた環境の中、
スタッフが丁寧に指導します。

病院長
川合 謙介

この度は、自治医科大学附属病院での初期臨床研修に興味を持っていただき、有り難うございます。

当院での研修には以下のような特長があります。

1．学閥・派閥のない自由な雰囲気

自治医科大学卒業生は栃木県出身者以外は出身都道府県で研修を行います。そのため、当院のレジデントのほとんどは自治医科大学以外の卒業生で、出身大学はさまざまです。2019年度～2023年度には、全国60大学から卒業生を受け入れています。

2．優秀で熱心な指導医と充実した研修プログラム

当院では2年間の初期研修から専門医研修、その後の教育・トレーニングまで、熱意のある有能な指導医が丁寧に指導を行っています。また、当院は、早くから新専門医制度に対応したプログラムを構築しており、基本19領域すべてにおいて基幹施設としてのプログラムを有します。

さらに、卒後臨床研修センターと地域臨床教育センターが連携し、ジュニアレジデントからシニアレジデントへシームレスな教育・トレーニング体制を整備しています。毎年多くのジュニアレジデントがそのままシニアレジデントに進級しています。

3．さまざまな関心領域に対応できる豊富な症例と高度の診療

自治医科大学附属病院は、許可病床数1,132床、47診療科の特定機能病院です。栃木・県南医療圏の基幹病院であると同時に、周辺の隣接県（茨城県筑西・下妻医療圏、古河・坂東医療圏、埼玉県利根医療圏など）からの受診者も多く、2022年度の入院患者数は延べ315,333名、外来受診者数は延べ608,692名、総手術件数は9,913件と、大学附属病院として多くの患者さんを受け入れています。

さまざまな小児専門診療科を集めたとちぎ子ども医療センターは当院の特長の一つですが、その他にも、総合周産期母子医療センター、重症心不全治療部、無菌治療部、成人先天性心疾患センター、脳卒中センター、てんかんセンター、糖尿病センター、リウマチセンターなど、common diseaseからrare diseaseまでさまざまな特殊有床部門やセンターと専門指導医を有していますので、幅広く研修医の皆さんの関心領域に対応することができます。高度急性期医療・救急医療はもちろんのこと、へき地医療を大きな柱の一つとする自治医科大学の特性として充実した総合診療・地域医療の教育研修を提供しているのも当院の特長の一つと言えます。

4．働き方改革への確実な対応

働き方改革に対して、早くから裁量労働制、変形労働制を導入し、業務の効率化、タスクシフティング・タスクシェアリングに積極的に取り組み、負担軽減を実現しています。特に看護師の特定行為については、自治医科大学は看護師特定行為研修センターを2015年に設立し、全国に先駆けた取り組みを行っています。

皆さんには、このような恵まれた環境で、医師としての最初の2年間を過ごしていただき、しっかりとした臨床の実力を身につけていただきたいと願っております。皆さんのご入職を、職員一同、心よりお待ちしています。

卒後臨床研修センターからのメッセージ

卒後臨床研修センター
センター長
光学医療センター
内視鏡部/呼吸器外科
教授
山本 真一

自治医科大学は地域医療に貢献する医師を育てる使命があり、その理念が附属病院にも根付いています。そのため大学病院としての役割だけでなく、地域医療の拠点としても重要な役割を担っており、一次医療から三次医療まで幅広い診療を行っているのが自治医科大学附属病院の特徴です。そのため、大学病院ならではの疾患だけでなく、いわゆる一般病院でよく遭遇する疾患まで経験できます。

また、自治医科大学の卒業生は、基本的に附属病院に残らず出身県で初期研修を行うため、学閥がなく自由な雰囲気のなかで研修を行うことができます。また、自治医科大学附属病院では、現在の臨床研修制度が始まる前からローテーション方式の研修制度をとっており、各科でのローテーターへの指導法が確立しているため、初期研修には最適の環境といえるでしょう。

その他、メディカルシミュレーションセンターや先端医療技術開発センターを有効に活用し手技等に習熟し、全科の優れた講師陣によるセミナーの開催により効率よく知識の習得ができます。さらに、大学病院というアカデミックな環境を生かし、学会発表や論文作成などの学術的活動も積極的に支援しています。

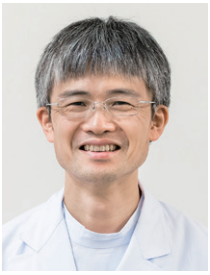
新専門医制度も始まり、卒後臨床研修センターでは後期研修に対する支援も強化しました。さらに、自治医科大学医学教育センターの支援を受け、国家試験合格への支援も行っています。医師国家試験から専門医取得まで、研修生活のみならず、医師としてのキャリアを応援していく体制が整いました。医師としての人生を充実させられるよう日々努力していきますので、ぜひ一緒に切磋琢磨していきましょう。

指導医からのメッセージ

卒後臨床研修センター
副センター長
小児科　准教授
田村 大輔

高度な医療を行う専門的かつ集約的研修、common diseasesに対応する基礎知識と即応力研修、チーム医療を遂行するための連携的研修、そして研修環境と共に手厚くサポートされている福利厚生制度。自治医科大学附属病院は、36診療科及び隣接する子ども医療センターでは11診療科を有し、研修する医師が直面するすべての場面・状況において、盤石かつ堅実な教育研修体制が整っています。さらに、当院独自の先進的なメンター・メンティー制度にて、全人的な支援を行っています。

あなたが思い描く医師像、憧れた先輩、そこに近づく輝かしい第一歩が、自治医科大学附属病院卒後臨床研修基本プログラムにあります。よき友、よき先輩と共に研修を行いながら「地域に根差す医師」「日本で輝く医師」「世界に挑戦する医師」について語り合いませんか？



卒後臨床研修センター
循環器内科　講師
小森 孝洋

初期研修先を選ぶにあたり、研修医の皆さんが重要と考える点の一つは、ここで研修した場合に自分の理想の医師になれるかということであろうかと思います。自治医科大学附属病院は大学病院ならではの複数の診療科と数多くの指導医を有しており、研修プログラムも自由度高く組むことができるため、あなたの目標実現をサポートできると思います。通年で行われている研修医向けセミナーや講習会も知識の獲得に役立ちます。初期研修期間中の住居、給与など福利厚生面も万全です。厳しくも楽しい研修医生活をともに頑張る研修医の同僚・先輩も大勢います。

自治医科大学附属病院で、あなたの医師生活の第一歩を踏み出してみませんか。当院の研修環境を活用して、あなたの目標に向けて頑張っていきましょう。我々指導医もあなたを時に厳しく時にやさしく見守りながら、理想の医師へ近づけるようお手伝いします。自治医科大学附属病院でともに働ける日が来ることを期待しています。

プログラムの目的と特徴

基本的には自治医科大学附属病院内において2年間の臨床研修の目的が達成される基幹型臨床研修病院型プログラムを提供します。ただし、一定期間学外の協力病院及び協力施設等において研修できる事もあります。必修研修科目の一つである「救急部門」は自治医科大学附属病院救命救急センター（1次から3次救急を担当）で研修します。

外科縫合実習

エコーハンズオンセミナー

自治医科大学附属病院卒後臨床研修コースならではの特徴

- 多くの優秀な指導医と同僚に囲まれた環境で、総合的な臨床能力を習得
- 豊富な症例を通じた興味ある専門分野の臨床経験
- 多彩な研修医向け教育講演、セミナー等の開催実績
- キャリアプランに応じた自由度の高いローテーションプログラム

■ 研修病院タイプ　基幹型

■ 研修医数　105名（2023年4月1日現在）

■ 研修医の出身大学　2019年度～2023年度［全国60大学］

北海道大学、旭川医科大学、弘前大学、山形大学、秋田大学、岩手医科大学、東北大学、東北医科薬科大学、新潟大学、信州大学、群馬大学、山梨大学、富山大学、金沢大学、金沢医科大学、福井大学、福島県立医科大学、筑波大学、千葉大学、埼玉医科大学、獨協医科大学、自治医科大学、北里大学、東海大学、帝京大学、昭和大学、東京慈恵会医科大学、東京大学、東邦大学、日本大学、聖マリアンナ医科大学、杏林大学、東京医科大学、東京女子医科大学、日本医科大学、順天堂大学、浜松医科大学、愛知医科大学、京都大学、京都府立医科大学、関西医科大学、鳥取大学、神戸大学、徳島大学、香川大学、島根大学、川崎医科大学、福岡大学、久留米大学、産業医科大学、長崎大学、大分大学、佐賀大学、宮崎大学、熊本大学、鹿児島大学、琉球大学、復旦大学（中国）、モスクワ第一国立医科大学（ロシア）、河北医科大学（中国）

初期臨床研修医セミナー

厚労省が発表している「臨床研修の到達目標」のうち、経験目標に記載されている項目をベースに全60回シリーズで昼セミナーを行っています。昼セミナーについては現在e-learningセミナーとして行っており、研修医が空いた時間にいつでも自由に視聴することができるようになっています。初期研修医は2年間ですべてのe-learningを視聴することを努力目標としています。

各演者の先生方には、特に以下のような点をお願いしています。

1. 知識の整理よりも現場の経験やエッセンスを伝えることを重視しており、プレゼンテーションは知識のレビューのみでなく、症例をベースにする。
2. 病棟や救急外来でレジデントが直面した問題についてどう考えたらいいかという視点で話してもらう。
3. 他科からコンサルトする際に何に注意すればよいかもスライド１枚にまとめもらう。
4. 「今日から使える知識」として、ぜひこれだけは知っておいてほしいという内容をスライド1枚にまとめてもらう。

研修医セミナーについては、研修医からの要望が多かったものを新規セミナーとして取り入れております。過去には文献検索セミナーを開催し、非常に多くの参加者がありとても好評でした。

●内科レジデントカンファレンスについて

レジデントカンファレンスは自治医科大学内科学講座が開催しているカンファレンスで、内科学の各講座から症例を出して、ディスカッションするというものです。以前は朝に行われており、カンファレンスの内容をまとめた本も出版されました（自治医科大学内科モーニングカンファレンス：メジカルビュー社）。

月2回、昼の12:30から30分間とし、研修医の先生が受け持った興味深い症例をプレゼンテーションしています。さまざまな主訴で入院した症例について、主訴、病歴、検査所見など徐々に出していき、聴衆に鑑別診断を考えてもらい、最終診断を示し、最後に診断、治療法をまとめ、Take home messageを述べてもらうという内容です。プレゼンテーションする側と、聞く側の両方が勉強できるカンファレンスです。こちらも学生も含めて毎回多数の参加者があり、好評です。

研修プログラム

当院における初期臨床研修プログラムは3つ あります。(併願可能)
1. 基本プログラム(定員58名)　2. 小児科プログラム(定員 2名)　3. 産婦人科プログラム(定員 2名)

初期研修ローテーションの原則

当院での初期研修プログラムの特徴

研修プログラム例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	内科						1 救急2, 麻酔・ICUいずれか2				外科	小児
2年目	産婦	精神	2 地域	外来(地域)	3 自由							

＊上記は順不動です　＊＊初期研修後の地域医療従事義務はありません。

1 救急麻酔ICUパック(計16週)
全身把握、全身管理に長けた総合力のある医師を育てる
(麻酔、ICUは4週までは救急必修にカウント可)

2 地域研修と一般外来研修を一括して行う(地域研修計8週)

3 自由枠は当院の全診療科より選択可能(必修と重複も可能)

※厚労省指針(2020年度より)2年間での必修科目:
- 内科24週
- 地域医療4週　一般外来4週
  残りは各自が希望する診療科を選択
- 必修科4科4週ずつ(外科、小児科、産婦人科、精神科)
- 救急12週

心:メンター制度の導入
年齢の比較的近い指導医が研修全般をサポート

技:教育コンテンツの充実
講義、実技セミナー(エコーや外科手技)
シミュレーションセンター24時間化

体:楽しく健康に過ごす
体育館、ジム、プールなどの施設も完備

●当直体制について

1ヶ月の当直回数　・3回程度　　**当直の開始時期**　・1年目の6月から開始

●地域医療研修病院

一関市国民健康保険藤沢病院(岩手)、南三陸病院(宮城)、那須南病院(栃木)、総和中央病院(茨城)、西吾妻福祉病院(群馬)、西予市立野村病院(愛媛)、日光市民病院(栃木)、哲西町診療所(岡山)、かみいち総合病院(富山)、県立南会津病院(福島)、磐梯町保健医療福祉センター(福島)、筑西診療所(茨城)、常陸大宮済生会病院(茨城)、あがの市民病院(新潟)、南魚沼市民病院(新潟)、女川町地域医療センター(宮城)

初期・後期研修のつながり

医師臨床研修制度の初期研修プログラムで研修する医学部卒業1年目と2年目の医師を「初期研修医」或いは「ジュニアレジデント(J)」と呼んでいます。また、医師臨床研修プログラム修了後に専門研修プログラムで研修する専攻医あるいは後期研修医を「シニアレジデント(S)」と呼んでいます。「ジュニアレジデント」と「シニアレジデント」を合わせて、「レジデント」と呼んでいます。

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
職　位	J1	J2	S1	S2	S3	
プログラム	初期研修		専門研修			
身分	自治医科大学附属病院　職員					

初期研修修了後、後期研修に進むことができます。当院では、多くの初期研修医がそのまま後期研修に進みます。これは、症例数が非常に多いことと、最新の設備を揃えていることの他に、指導医の層が厚いことも理由の一つです。豊富な知識と経験を持つ多くの医師から、直接指導を受けられる環境にあります。また、研修医のうちから学会発表や、当大学の学生を教える機会を与えられますので、教育的環境の下で自身の理解を深めながら学ぶことができます。

後期研修修了後は、大学病院という特徴を生かして、専門臨床医はもちろん、大学院進学や海外留学などの多様な選択肢があり、各個人のキャリアパス設計をサポートします。

新専門医制度について

2018年度から新専門医制度が開始となりました。自治医科大学では、症例数や指導体制が充実しておりますので、19領域すべての専門医を取得できます。詳しくは卒後臨床研修センターのホームページをご覧ください。

Q&A よくある質問

Q 学閥がない(卒業生が残らない)と聞きましたが？

A 自治医大生は、卒業後は出身県に戻り、決められた期間出身県での勤務をします。(いわゆる義務年限)。このため、附属病院の初期研修医のほとんどが他大学出身で、これまでに全国60大学から集まっています。(2019年度～2023年度実績)

Q 研修医用の宿舎があると聞きましたが？

A 大学病院敷地内にレジデントハウスを用意しています(2012年完成)。家賃は駐車場1台分込で11,000円/月。部屋はワンルームマンション形式で、その他にトレーニングルームや大浴場、コインランドリーなどを完備しています。管理人も24時間常駐しておりますので、女性にも安心です。宅配便の受け取りにも対応します。

Q 当直の回数はどれくらいですか？

A 月に3回程度です。病棟当直と、救急外来の当直があります。

Q 入局先に迷った場合、2年目の研修はどのようにしたら良いですか？

A 候補となる診療科を2年目の前半までに回ることをお奨めします。第一希望に考えている診療科を最優先に、ローテーションを組むようにしています。

Q 初期研修中に妊娠・出産した場合、2年間で初期研修を修了することはできますか？

A もちろん可能です。
研修期間(2年間)を通じた休止期間の上限は90日まで認められています。
実際に初期研修中に出産し、2年間で研修を修了した女性研修医もいます。出産前後のローテーションはご本人の希望を最大限尊重します。

Q 初期研修修了後の進路について教えて下さい

A 当院では、多くの初期研修医が専門医研修に進みますが、各診療科における専門医研修の他、地域医療プログラムや国内外への留学、大学院進学など、進路は多様です。自治医科大学附属病院の特性を生かした選択肢となっています。

初期研修修了	→ 自治医科大学附属病院　入局
	→ 他大学病院
	→ 一般病院
	→ 診療所
	→ 大学院
	→ 国内外留学

研修医メッセージ

ジュニアレジデント2年
市丸 夕乃 先生
筑波大学出身

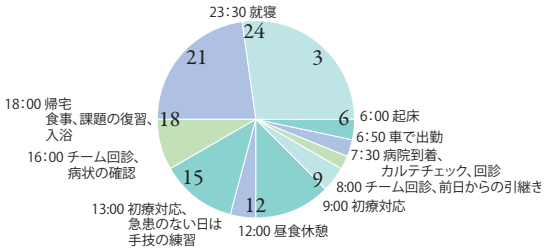
高度な症例に触れられる機会が多く
最後まで担当できることがやりがいに

手技の修得だけでなく勉強にも力を入れたいと思い、研修先には大学病院を志望。母校の附属病院も考えましたが、今までとは異なる環境で多様な考えに触れたいと思い、さまざまな大学から研修医が集まる自治医科大学を選びました。

自治医科大学の研修プログラムの特徴として、全員がICUを回る点があります。大学時代から集中治療に興味があるので、ICUでの経験も大いに役立つのではないかと感じました。現在の救急科も、患者さんをジェネラルに診るという点では同様であり、とても勉強になります。また救急科に限らず高度な症例が多く、市中病院であれば三次救急へ送らなければならないような症例も、最後まで担当することができ、やりがいを感じています。

幅広い診療科を経験したことで、集中治療以外の分野にも興味を持つようになりました。将来の進路について模索中です。

一日のスケジュール
（救急科）



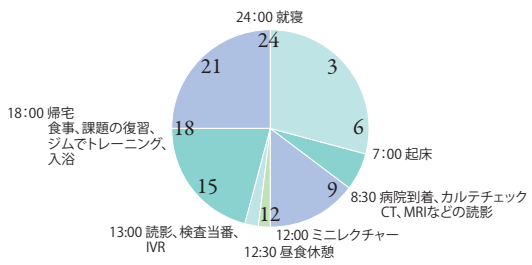
最先端機器での練習やレジデント対象の勉強会
医師としての知識・技術を高められる環境です

現在は画像診断科に所属しています。こうした科があり研修で回ることができるのも、規模の大きい自治医科大学だからこそだと思います。どの診療科でも画像を読む知識は求められるので、ここでの経験を今後に活かしていきたいですね。

規模はもちろん、さまざまな設備が整っているのもこの病院の特長です。研修医も低侵襲手術支援ロボット「da Vinci」を使い手技の練習を行える病院は、他にあまりないのではないでしょうか。また指導に熱心な先生ばかりで、研修医を育てようというマインドを感じます。「レジデントカンファレンス」と呼ばれる月に二回ほどの研修医対象の勉強会も役立っています。

卒業した大学では医学部の一期生だったこともあり、先輩と接する機会がありませんでした。ここはオーベンの先生方や先輩研修医の数も多く、どのような進路に進むべきかといったロールモデルに事欠かないのも嬉しいですね。

一日のスケジュール
（画像診断科）



ジュニアレジデント2年
藤原 敬平 先生
東北医科薬科大学出身

ジュニアレジデント1年
大司 響子先生
神戸大学出身

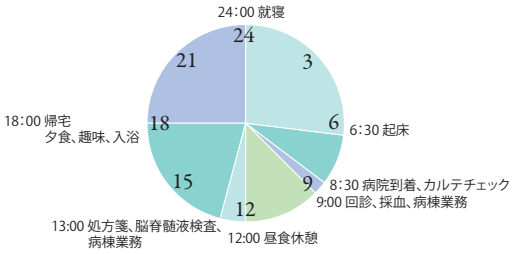
同期の数が多く、相談し合える環境
通勤に時間がかからないのも魅力です

医学部時代に地域医療に関心があり、実習プログラムに参加。その際の実習先の院長や研修医の方が自治医科大学出身だったことで興味を持ち、初期研修先として志望しました。

同期の研修医が60名弱と比較的多い点が、自治医科大学の特徴の一つです。ローテでも同じ診療科に所属する同期が数名います。現在は脳神経内科に所属していますが、初めて受け持った患者さんが急変し、亡くなられてしまうということがありました。「もっと出来ることがあったのではないか」等、さまざまなことを考えましたが、同じ科にいる同期が相談に乗ってくれたことが、非常に力になりました。

現在はレジデントハウスで初めての一人暮らし。通勤に時間がかからないのでとても助かっており、趣味を楽しむ時間もあります。また週末に近所のスーパーマーケットへ買い出しに行き自炊をするなど、充実したプライベートを過ごしています。

一日のスケジュール
（脳神経内科）

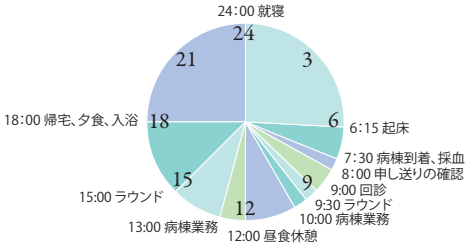


全国から集まった仲間と切磋琢磨する日々
学閥がないからこそ生まれるフラットな関係

総合診療科と救急科に興味があったことから、その双方に強い自治医科大学を選びました。大学の附属病院の場合、医学部からそのまま上がってくる学生が中心となって学閥を作るという話をよく耳にします。けれども自治医科大学の場合、学生は皆地元に戻るので、最初からフラットな関係を築くことが可能です。そうした点も、研修先選びの大きなポイントになりました。

現在はアレルギー・リウマチ科に所属しています。慢性の患者さんが多くじっくりと診察できる一方で急変する患者さんへの対応などにも取り組み、充実した毎日を送っています。手技を早く身に付けると同時に、患者さんの主訴を聞いた際にどんな患部疾患を挙げられるか、どのような検査を行うかといった臨床に即した知識を身に付けていきたいですね。その日気になった箇所の復習も、レジデントハウスが敷地内にあるので、容易に時間を作ることが可能です。

一日のスケジュール
（アレルギー・リウマチ科）



ジュニアレジデント1年
永野 祐紀先生
旭川医科大学出身

研修期間を支えるのは、設備も充実した生活環境

研修医の皆さんのために、大学病院敷地内にレジデントハウスを用意しています。2012 年に新棟が完成し、トレーニングルームなども設置され、今まで以上に快適な住まいとなりました。また、管理人が常駐していますので安心です。宅配便の受取にも対応します。病院から近いので、忙しい研修期間を過ごすには最適。家賃の安さも魅力です。

219戸、7階建てのレジデントハウスは、2012年に完成

1居室の広さは約6.8畳と、一人暮らしには十分な広さ

自治医科大学レジデントハウス概要

〔個室〕面積：25.8㎡(バルコニー含む)
設備：2口IHコンロ付きカウンターキッチン、エアコン、トイレ、バス、洗面所、クローゼット、バルコニー、インターネット端子、TV端子(BS受信可)、駐車場
〔共用施設〕1階：エントランスホール、ラウンジ、メールコーナー、管理人室、コインランドリー室、大浴場　2階：トレーニングルーム、談話室
〔家賃〕**11,000円**／月※電気代等は実費負担

医学部教育研究棟

平成23年12月に完成した医学部の教育・研究棟は、講義や実習のための教室や研究室、セミナー室を数多く配した最新の教育・研究設備です。

図書館

自治医科大学図書館は24万冊の蔵書を誇ります。数多くの電子ジャーナルを提供しており、UpToDateなども学内のどこからでも自由に使用できます。
保健医療関係の統計資料も多数収集しているほか、視聴覚資料も充実しており、オンデマンド配信もしています。

先端医療技術開発センター

大型実験動物（主として実験用ミニブタ）を用いた医学教育・研究の支援を行う国内有数の動物実験施設です。文部科学省共同利用・共同研究拠点の認定を受けており、学内だけでなく広く全国から研究課題を公募し、先進的医療技術の開発研究を行っています。

職員食堂

栄養バランスに配慮した豊富なメニューが自慢です。

営業時間
朝(平日)　7:30～10:00
　(土日)　8:00～10:00
昼(平日)11:30～14:00
　(土日)11:30～13:00
夜(平日)17:45～19:00
　(土日)17:00～18:15

スカイラウンジ（Jスカイ）

職員専用ラウンジ

Jプラザ

附属病院に併設されたJプラザには和洋中のレストランの他、カフェやコンビニエンスストアなどが設置されています。また薬店や理容室などもあります。
ほとんどの買い物はこちらで済ませる事ができます。

〔採用試験情報〕

■応募資格

1. 2023年度医師免許取得見込者（第118回医師国家試験受験予定者）
2. 医師免許取得者（ただし初期臨床研修を未実施の者）
3. 2023年医師臨床研修マッチング協議会のプログラムに参加・登録する者

■選考内容　小論文、面接試験

■選考日程　2023年7月～8月

※受験者に大学規程による交通費を支給します。詳細はお問い合わせください。

■応募書類受付締め切り　2023年7月14日（金）

■募集予定人数　62名（2023年度募集対象、本学卒業生を含む）

1　基本プログラム　　定員 58名
2　小児科プログラム　　定員 2名
3　産婦人科プログラム　定員 2名

外来

とちぎ子ども医療センター

■処遇

- 身分：病院職員　●報酬：標準的年間給与　約480万円
- 社会保険・労働保険の扱い：日本私立学校振興・共済事業団　労働者災害補償保険法の適用…有り、雇用保険…有り
- 健康診断：年1回実施
- 休暇：有給休暇…一年次15日、二年次20日　夏期休暇…有り、年末年始…有り、その他…誕生日休暇、傷病休暇、産前産後休暇等
- 宿舎：レジデントハウス（2012年竣工）　※設備等詳細については、9ページをご覧下さい。
- 福利厚生施設：日光研修所、北軽井沢山荘、テニスコート、プールなど
- 育児支援：医師・研究者キャリア支援センター、短時間勤務制度、パパ休暇制度、パパママ育休プラス制度
- その他：外部の学会、研究会等への参加…可（学会の演題発表者には旅費を支給）

■病院見学　交通費支給！

随時受付中です。裏表紙の応募連絡先までご連絡ください。貴大学から当院までの往復交通費を補助します（但し年1回、当院規程額）。
宿泊を希望される場合は、レジデントハウス等の構内住宅をご利用できます（3泊まで無料）。

■初期研修医採用状況

※マッチング定数は自治卒業生を除いた数

採用・マッチング状況		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
マッチング定数(※)		59	59	57	58	59	58	59	58
受験者数		83	73	56	62	72	115	121	100
マッチング数		46	51	39	32	43	58	45	50
二次募集(マッチング外)採用者		5	1	3	10	9	1	0	4
採用者数(卒業生除く)		47	46	37	36	49	55	42	50
	女性数(内数)	15	20	23	13	23	34	17	22
自治卒業生		5	4	7	6	5	6	5	6
採用者合計		52	50	44	42	54	61	47	56
臨床研修修了者数(卒業生除く)		47	45	36	35	50	53	—	—
	シニア進級者	32 (68.1%)	38 (84.4%)	28 (77.8%)	27 (77.1%)	28 (56.0%)	38 (71.7%)	—	—

新館南棟（2018年11月に本格始動しました）

自治医科大学附属病院では、患者の皆様に良い医療サービスを提供していくため、新館南棟を建設いたしました。手術室や集中治療室などを増強し、高度化・多様化する医療ニーズに対応しています。

- 5F･･･スカイラウンジ（J-sky）
- 3F･･･中央手術部
- 2F･･･集中治療部
- 1F･･･救命救急センター、病理診断部

全国医学生対象の夏季・春季セミナー開催のお知らせ

毎年恒例の医学生対象の夏季・春季セミナーを今年も開催します！ 経験豊富な講師陣が参加者一人ひとりに親切・丁寧に指導いたします。当院の豊富な設備を利用できる他、興味のある診療科の手技などを幅広く体験することができます。みなさまのご参加をお待ちしております。

夏季セミナー 2023年7月16日(日)・17日(月・祝)

春季セミナー 2024年3月(予定)
[開催日は秋頃にホームページでお知らせします]

2023夏季セミナー in Jichi

医学部4～6年生を対象としたセミナーです。
各クールの選択種目の中から自分が興味のあるセミナーをひとつずつ選択することができます。
※各選択種目で定員を超えた場合は、学年順で調整させていただくこともあります。

■7/16(日)プログラム

8:15～ 8:45	受付
8:45～ 9:00	開会式
9:15～10:45	**第1クール**
11:00～12:30	**第2クール**
12:45～13:45	昼食
14:00～15:30	**第3クール**
15:45～17:15	クエストJ

■7/17(月・祝)プログラム

8:30～ 9:00	受付
9:15～10:45	**第4クール**
11:00～12:30	**第5クール**

選択種目内容

[1クールにつきひとつのセミナー(種目)を選択できます]

※以下の種目を第1クール～第5クールに振り分けます

- 気管支鏡検査・胸腔ドレナージを学ぼう！
- 外科の診断・治療手技を体験してみよう！
- 小児二次救命処置法(PALS)＋ルート確保(末梢静脈、骨髄針)
- 皮膚がもっと好きになるセミナー
- 君もなれる！！ カテーテルアブレーションの達人セミナー
- きみも小児心臓血管外科医になってみないか？
- 病跡学入門
- 一日病理医体験
- チャレンジ内視鏡
- あなたの体水分量を調べてみよう！
- ブタ心臓を用いた人工弁置換術を体験しよう
- 画像下治療(IVR;インターベンショナルラジオロジー)の体験セミナー
- 血液科医になろう
- 産婦人科体験セミナー
- 中心静脈カテーテル穿刺
- 夏の糖尿病セミナー
- バーチャルトラベルクリニック
- 緩和ケアのいろは
- 放射線治療を計画しよう！
- 頸動脈エコーの体験実習

※セミナーのタイトルは変更になる可能性があります。最新の情報はホームページを確認してください。

■交通アクセス
JR宇都宮線「自治医大駅」より、徒歩10分
・JR新宿駅より92分(湘南新宿ライン利用の場合)
・JR東京駅より89分東北本線[宇都宮線]快速利用の場合

採用およびセミナーに関するお問合せ

自治医科大学附属病院
卒後臨床研修センター

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
TEL. 0285-58-7252(直通)
FAX. 0285-44-1155
E-mail rinshoukenshu@jichi.ac.jp
詳細はホームページで
https://www.jichi.ac.jp/hospital/top/resident/